

鈴木直道^{なのみち}北海道知事が 静内高校生と意見交換

鈴木直道北海道知事が各地域を訪問して地域の方と懇談する『なのみちカフェ』が5月26日に静内高校で行われ、大野町長や久保田教育長も同席し、昨年度の高校生探究サミットで北海道知事賞を受賞した同校生徒らと意見交換を行いました。まちの活性化を目的に実施したシャッターアートの活動で苦労した体験や住民の方との関わりなどについて意見交換が行われ、鈴木知事は「とても大変なことを実践し、取り組んだことが皆さんの財産になる。感動しました」と話しました。



栗山町と介護人材の確保に関する 包括連携協定締結

町および教育委員会と空知管内栗山町、栗山町教育委員会、栗山町立北海道介護福祉学校による『介護人材の確保に関する包括連携協定締結式』が5月31日に役場静内庁舎で行われました。同校は、これまで多くの医療・介護人材を輩出していますが、学生の確保が課題となっており、当町でも医療・介護人材の慢性的な不足が続いていることから、双方の課題解決を図るため協定を締結しました。今回の協定により、町が推薦した学生が同校に入学する場合は、入学金や授業料などの一部が減免されます。

特急とまも号に バリアフリー対応バスを導入

ジェイ・オール北海道バスは、管内7町で構成する日高地域広域公共交通確保対策協議会（大野克之会長）の支援を受け、えりも・苫小牧間を走る『特急とまも号』などに新車両を6台導入し、5月31日にイオン静内店駐車場で展示会を開きました。特急とまも号の新車両は、利用者の利便性の向上を図るため、胆振・日高管内初となる車椅子乗降用エレベーターを装備し、車椅子に座ったまま座席フロアに移動することができるようほか、無料WiFiやIC乗車券なども利用することができます。

